

中西外務大臣政務官政務官による
「EARTH CAMP」メインイベントへのオープニングメッセージ

令和3年1月30日

おはようございます。外務大臣政務官の中西哲でございます。本日は休日の朝から国際協力キャンペーン「EARTH CAMP」のメインイベントにご参加、ご視聴いただき、誠にありがとうございます。共催者である外務省、JICA、JANICを代表してご挨拶申し上げます。

この「EARTH CAMP」は、例年10月に都内で開催されている国際協力イベント「グローバルフェスタ JAPAN」に代わり企画されたオンラインキャンペーンです。本年度の「グローバルフェスタ JAPAN」は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、残念ながら中止となってしまいましたが、国際協力について語り合う場をオンラインで用意することができました。

「EARTH CAMP」のテーマは「輪になって語ろう。地球の未来。」です。新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大は、我々の社会、経済、そして私たちの生活に深刻な影響を与えています。国境を越えて人やモノ、情報そして資本が移動する現代では、海の向こうで起きている出来事も決して他人事ではありません。

また、感染症や気候変動、自然災害などといった地球規模の大きな課題は、一国だけでの対処は難しく、その解決のためには国境を超えた連携が不可欠です。日本も「東日本大震災」や「熊本地震」など、大きな災害に見舞われた際には海外から支援を頂きました。

世界のこうした課題について、日本は様々な形で取組を行っていますが、ODAもその一つです。私自身も昨年の1月に、参議院 ODA 調査団の一員として、タイやブータンにおける農業やインフラ等の開発協力の現場を視察し、国際協力の意義・必要性を実感しました。そして、政府や企業などの大きな組織のみならず、私たち一人一人にも、日々の暮らしの中でできることはたくさんあります。

コロナ禍の影響で閉塞的になりがちな、慌ただしい毎日ですが、このような時だからこそ、普段は目を向けることの少ない世界へと視野を広げることができるのではないのでしょうか。「EARTH CAMP」を通じ、世界で起きていることへの理解を深め、そしてこの地球に暮らす全ての人々のより良い暮らしにつながることを願います。

「EARTH CAMP」には、外務省、JICA、JANICに加え、多くの日本のNGOや市民の方々が参加しています。日頃から「日本の顔」として支援の最前線で頑張ってくださっている多様な関係者の皆さまが一堂に会し、国際協力の今を発信する貴重な機会です。

昨年10月に開始されたこの「EARTH CAMP」ではこれまで約70の貴重なオンラインイベントが開催され、これまでたくさんの皆様に参加されました。そして本日と明日、2日間にわたってそのメインイベントが開催されます。「EARTH CAMP」で語り合ったことが、必ずや皆様が地球の未来について考えるヒントになってくれると信じています。

現在の厳しい状況下で国際協力に取り組むすべての皆さん、遠い国であっても共に考え思いをはせ、協力しながら、日本ならではの国際協力を共に作り上げていきましょう。この場から、国際協力の輪がまたひとつ、広がっていくことを期待しています。

外務省としても、NGOや地方自治体、企業、国際機関といった多様なパートナーの皆様と連携し力を合わせつつ、より良い国際協力に向けて、引き続き取り組んでいきます。

ありがとうございました。

(了)